

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270201312		
法人名	医療法人弘愛会		
事業所名	グループホームふれあい温泉		
所在地 (電話番号)	〒036-8252 青森県弘前市旭ヶ丘二丁目6番地の4 (電話) 0172-35-8282		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 9月 22日	評価確定日	平成 20年 12月 11日

【情報提供票より】(平成20年8月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 3月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	14人, 非常勤 3人, 常勤換算 9.275人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2 階建ての 階 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	15,750 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,350 円			

(4) 利用者の概要(8月31日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	2 名	要介護2	6 名		
要介護3	7 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.5 歳	最低	63 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人弘愛会 弘愛会病院, 医療法人弘愛会 弘愛会クリニック
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

元々温泉ホテルであった建物を改修しているため、居室が広々としており、またデイサービスの大浴場も利用できる。居室にはそれぞれ使い慣れた家具を持ち込まれてその人らしい部屋作りがなされている。看護師が常駐し、看護記録も記入されているので医療面で安心ができる。毎月家族へ近況報告の便りを送っているのだが、個々に写真入りで詳しく書かれているので暮らしがよよく伝わっている。毎月遠方へのドライブを欠かさず行っており、普段もできるだけ散歩や買い物など外出している。お茶会、相撲の星取など、ユニークなイベントを企画されており、暮らしのアクセントとなっている。入居者への言葉掛けがとても丁寧で、入居者を尊重している様子が窺える。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	町内会の納涼祭への参加やホームの祭りへ地域の人の参加を働きかけるなど、地域との付き合いを深めることができるよう取り組んでいる。昼食で同じようなメニューが続かないように同じ材料でも料理法や盛り付けを変えるなど工夫している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	外部評価の結果報告で出た改善課題については全職員で話し合って検討しているが、自己評価は主に担当職員だけで行っているため、全員で取り組めていない。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議には家族・町会・包括支援センターから積極的に参加があり、防災に関することやホームの行事、食事の味付けなど様々なことについて意見交換が行われている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	面会時・支払時に入居者の暮らしぶりや金銭状況を伝えている。また、毎月入居者毎に作った便りがあり、暮らしぶりや職員の異動など詳しく書かれており、家族が安心できるよう報告している。意見が出しやすいよう、入り口へ意見箱を設置した。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進会議へ地域の方々が積極的に参加されている。ホームの行事予定を町会長へ渡して集会の時に紹介してもらうようにしている。町内会の納涼祭に参加したり、ホームでの納涼祭に来てもらったりしている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は経営者・管理者・職員全員で作り上げたものであり、地域密着型としてサービスに反映させられるよう管理者・職員間で確認し合っている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員共に地域密着型としての理念を理解しており、ミーティングにおいて日々確認している。また地域密着型として、その人の地域での関係性を継続させること、地域の人たちと積極的に交流することを心がけている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近隣の人とは散歩の時など挨拶をかわしている他、町内会での納涼祭へ参加して交流を図っている。また、グループホームでの納涼祭へも近所の方に来ていただけるよう働きかけている。ホームで行っている相撲の星とりに近所の人も参加してもらっている。近隣の中学校では毎年歌の慰問にきてくれている。運営推進会議へも地域の方が積極的に参加しており、地域の情報を教えてもらっており、町会長へホームの行事予定表を渡して、集まりの時に紹介してもらうようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価の調査報告書で出た改善点は全員で話し合っているが、自己評価はほとんど担当職員だけが行っている。</p>		<p>評価の一連の過程を全職員で行うことは職員の意識合わせ、ケアの振り返りや見直し等につながります。自己評価を全職員で取り組んでみることを期待します。</p>
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議は二ヶ月に一回開催しており、行事等のサービスの報告を行い、参加者から率直な意見をいただいている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地区の地域包括支援センター担当職員から、他の事業所の取り組みなどを教えてもらい情報交換を行っている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護制度の利用を検討した入居者がいたため、管理者は制度に関してよく理解しているものの、他職員が理解するまでには至っていない。</p>		<p>制度の活用が必要なときに支援できるよう、また、家族へ情報提供ができるよう、全職員で制度を学べる機会を作ることを期待します。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員は虐待について、事例を出し合って虐待に相当しないか話し合っ理解を深めている。万が一、虐待を発見した場合の対応も職員は心得ている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時の説明には十分時間を掛けて説明するようにしている。聞きたいことがあれば随時説明することも家族へ伝えている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月の支払時に必ず家族が来ているので、その時に普段の暮らしぶりや金銭出納状況を伝えるようにしている。その他にも毎月入居者別に、それぞれの暮らしぶりや職員の異動等を写真入りで書いた便りを家族へ送っている。体調変化時の病院受診前後にも家族へ報告を入れるようにしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>グループホームだけでなく、外部の苦情受付窓口を契約時に説明するようにしている。また、意見を出しやすいように入り口付近に意見箱を設置した。運営推進会議には家族に参加してもらっており、意見をいただけるよう努めている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動は年に一人程あり、入居者には不安にならないように伝え、家族へも便り等で知らせるようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新任職員には担当職員をつけて、早く仕事を覚えてもらえるように配慮している。外部研修には積極的に参加するようにし、研修後には報告会を設け、内容を全体で共有できるようにしている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県のグループホーム協会へ加入しており、研修会などへ参加するようにしている。外部からの見学はよく受け入れているが、こちらから外部へ見学へ行く機会はない。</p>		<p>同業者との交流は、職場内で行き詰っていた悩みの解消や、緊急時の連携など、サービスの向上へつながります。他事業所からの見学を多数受けられているようですから、こちらからも他事業所の見学を計画して、ネットワーク作りをする取り組みが期待されます。</p>
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ほとんどの方が併設(同建物内)のデイサービスからの移行者なので、デイサービスの利用者と関係を断ち切らないように交流するようにしている。入居後数日間は家族へ泊まってもらったり、面会に頻繁に来ていただくようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>理念を筆で書いてもらう、華を活けてもらう、お茶を点ててもらう、調理をつつだてもらう等、入居者の生活歴・趣味を活かした場をつくり、一方的な立場にならないようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員1名に入居者2～3名の担当制にしており、多くの入居者の状態を把握してもらいたい為、担当は半年に一度変えることにしている。センター方式を採用して、入居者の細かな情報を収集するようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は受け持ち担当制にしており、本人・家族・看護師と話し合っ、思いや意向を反映した計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>最低6ヶ月に1度、または状態変化の都度見直しするようにしている。家族へも情報提供している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>病院受診の付添いや入院時の病院との連絡対応を行っている。実家帰省時には送迎を行い、通院時を利用して外食を楽しんだりしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>事業所の協力医療機関よりも、入居者のそれまでのかかりつけ医を優先するようにしている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合の事は、入居時、体調変化時、カンファレンスの時と、家族と話し合って希望を取り入れるようにしている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーに関することは全職員へ説明しており、外部へ情報を漏らさないことの誓約書を書いてもらっている。新しい職員にも契約時に説明している。羞恥心に配慮して入浴は同性介助するようにしている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>お茶の時間、レクリエーションの時間など設けられているが、入居者それぞれのペースで自室で過ごしたりと思い思いにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>昼食はデイサービスとメニューが共通の為、ホームでは盛り付けだけしているが、朝夕はホームで作っている。可能な方には調理も手伝ってもらっている。職員はサポートに徹しており、一緒に食事をするのではない。</p>		<p>共に暮らすという視点から、職員も一緒に楽しんで食事することは入居者との関係づくりのうえで非常に重要です。職員も一緒に食事することを検討してみてはいかがでしょうか。</p>
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>全居室に浴室があるが、現在は一階にある大浴場を利用している。デイサービスと共用のため、13時から夕方が入浴時間となる。入浴日は希望を聞いて決めており、毎日入りたい方には入ってもらっている。車いすの方もいるが、シャワーチェアで対応できている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生花、お茶、書、手芸、庭仕事など、入居者それぞれの趣味や生活歴を活かした行事や仕事をつくって、活躍の場を持ってもらっている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>毎日夕方に希望者は散歩へ出かけられるように支援している。理美容院や外食など、それぞれの馴染みのお店へ行けるよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束予防のマニュアルがある。職員は身体拘束を行わないことについては理解しているが、どのような行為が拘束になるかまでの理解には至っていない。</p>		<p>マニュアルを基に勉強会を企画するなどして、身体拘束の内容とその弊害がどのようなものであるか、さらに理解を深めることを期待します。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>同建物内のデイサービスと玄関が同じ為施錠しているが、毎日散歩に出かけるなど入居者の外出希望に添えるように対応している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>定期的に火災を想定した避難訓練をおこない、緊急連絡網の確認もしている。非常食も用意している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>基本的にメニューはデイサービスと共通であり、栄養士が作成している。塩分やカロリー制限、嫌いなものを把握しており、代替食を用意している。状態に応じてきざみ食等にもしている。利尿剤を服用している方などは水分量摂取量の記録をとって把握するようにしている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>協力病院から感染症に関するインシデントレポートが送られてくるので、それを基に注意喚起している。感染症対策のマニュアルを作り、朝の申し送り時に時節に合わせた感染症の確認を全員で行っている。インフルエンザの予防接種を受けられる体制も整っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
34	78	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	元がホテルの建物なので奥まで光が入りにくい構造だが、暗くならないように照明に配慮している。共用空間にソファや金魚鉢、観葉植物をおいてくつろげる様にしている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドや家具を持ち込みしてもらって、その人らしい居室作りがなされていた。各居室のトイレに段差があるが、踏み台を置いたり、ポータブルトイレを利用してもらったりと、入居者の状態に合わせて工夫している。		

 は、重点項目。